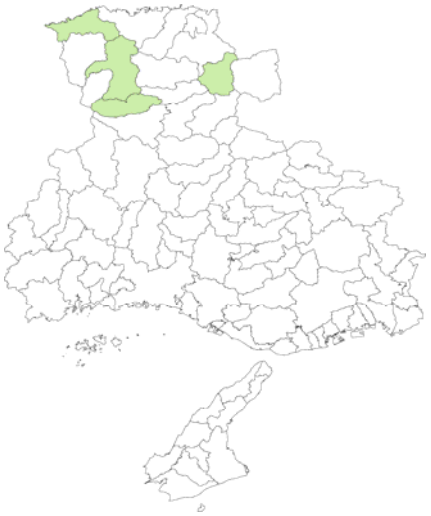
**ノダイオウ**(タデ 科)
*Rumex longifolius* DC.

**兵庫県: Cランク**
**環境省: 準絶滅危惧**

**種の概要**
道ばたや畑地などにはえる多年草。茎は壮大で分枝し、高さ1m以上になる。根出葉や茎の下部の葉は大きく、有柄で、長卵状楕円形、波状縁、先は鈍形、基部はふつう円形、長さ20-35cm、上部の葉は小さくて細くなり、披針形～長楕円形をなす。花期は6-8月。翼状内蓴片は広倒心形、低鋸歯縁または全縁で、長さ5-6mmになる。

**国内分布**
北海道・本州(中部以北および和歌山県など)

**県内分布**
浜坂町、村岡町、出石町、関宮町



**選定理由**

| 人為性 | | 特殊性 | | 学術性 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 生育環境破壊 | 観賞用等採取 | 特殊生育環境 | 特異な生態 | 特殊な分布 | 分布の限界 | 希少 |
| | | | | | | ○ |

**特記事項**
シカのヌタ場となって生育地が減少。2009年版での追加種。

**保護上の留意点**
生育地の保全